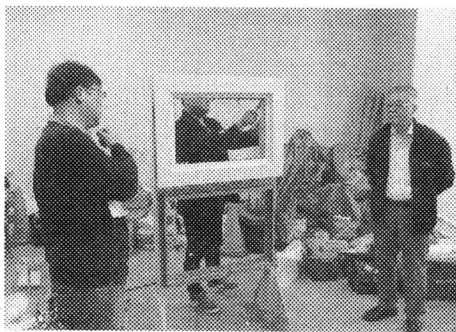


# 「発砲工法」新機材見学会 「RAKUE」の勉強会も

栗原



見学会の様 (右が佐竹専務)



「RAKUE」の説明も

高性能断熱窓「K・W」発砲工法」を展開する(株)BAC(本社||愛知県一宮市、戸田忍社長)との取引先関係者らが集まる。京都文京区、栗原重和社共同で、省エネ・簡単窓リフォームの「RAKUE」を開発・販売を行う会を開催した。

今回の見学会には、BACの持ち株会社である(株)BACホールディングス(本社||愛知県一宮市)・長谷川祐貴社長が、さらに、カナタの樹脂サッシ用形材を供給する「P・H・Tech」社からも参加があった。説明会の冒頭に栗原・佐竹隆一専務より「RAKUE」の概要説明があり、その内容は次の通り。省エネ・簡単窓リフォームの「RAKUE」は、R11リフォーム、A11高い等級・性能、K11K・W11NDOW、U11ウレ

タン発砲工法、E11エコ・簡単を意味しており、耐候性に優れ、堅いフレームを持ち、ガラス選択の幅の広い栗原の「K・W11NDOW」と、施工が簡単で、断熱性に優れ、湿気を防止するBACの発砲工法の、それぞれの優位性を組み合わせた。「K・W11NDOW」は世界最先端の製造技術を持つカナタの「P・H・Tech」社のコンピュータ生産技術を活用し、国内で製造・販売している樹脂製の高性能断熱窓。ペアガラスやトリプルガラスの組み込み、メンテナンス性にも優れている。簡単施工の説明の他、「化粧板が不要なこと」「発砲工法ではビス止めは不要だが、サッシの重さ(約100キ

ル)もあるのでは、念のためビス止めを行う」などを説明した。後半の部では、長谷川社長より「発砲工法」の説明があった。

発砲材を充填する際に使用するノズルが、銃のように見えることから「発砲」では無く「発砲」と名付けられたもの。2液性で30倍発砲の硬質発

国内最高クラスの断熱性、気密性

栗原の樹脂窓 ガラスを自由に選べます

## K-WINDOW

株式会社 栗原 K-WINDOW営業部  
TEL(03)3816-1151 TEL(048)523-0171

泡ウレタンを用いている。ウレタン材の接着で固定するため、窓やドアの材質、躯体の構造を問わず、ビス止めや溶接などが不要となる。硬質発砲ウレタンは2~5分で硬化するため、施工時間が大幅に短縮されるほか、溶接を使用しないため、火気厳禁の現場でも施工が可能。室内側から施工できるため、足場の設置も不要なうえ、作業中の騒音も少ない。このほか、沿岸地域などで発生する、塩害による下地ビス等の腐食の心配もない。3性能試験において性A・4、耐風圧S・7(3600Pa)と高性能を実現している。

「発砲工法」は、BACに納まる様子を見学でき

う専門の講習プログラムを受けた、「発砲工法施工」しか施工ができない。また、経済産業省主催の平成27年度「先進的ナリフォーム事業者表彰」も受けている。

その後、IOT搭載の新発砲吐出機材によるテスト施工も行われ、長谷川社長より①職人技が不要②試し打ちが少なく済むのでムダが省ける③空気圧縮で吐出させるため、代替フロン未使用④温度管理、ウレタンの使用量などIOT管理ができる⑤ウレタンを充填方式にした等、新しい機材の説明があった。新しい機材をつかったテストで

「発砲工法」は、BACに納まる様子を見学でき